

# 災害関連死ゼロに向けての サポート

2025年3月4日（火）

**BUNKA**

株式会社ブンカ

①歴史

②組織

③業務内容

④主要取引先

# 設立

# 1948年5月

印刷会社としてスタート  
事業内容を拡大し広告代理店へ

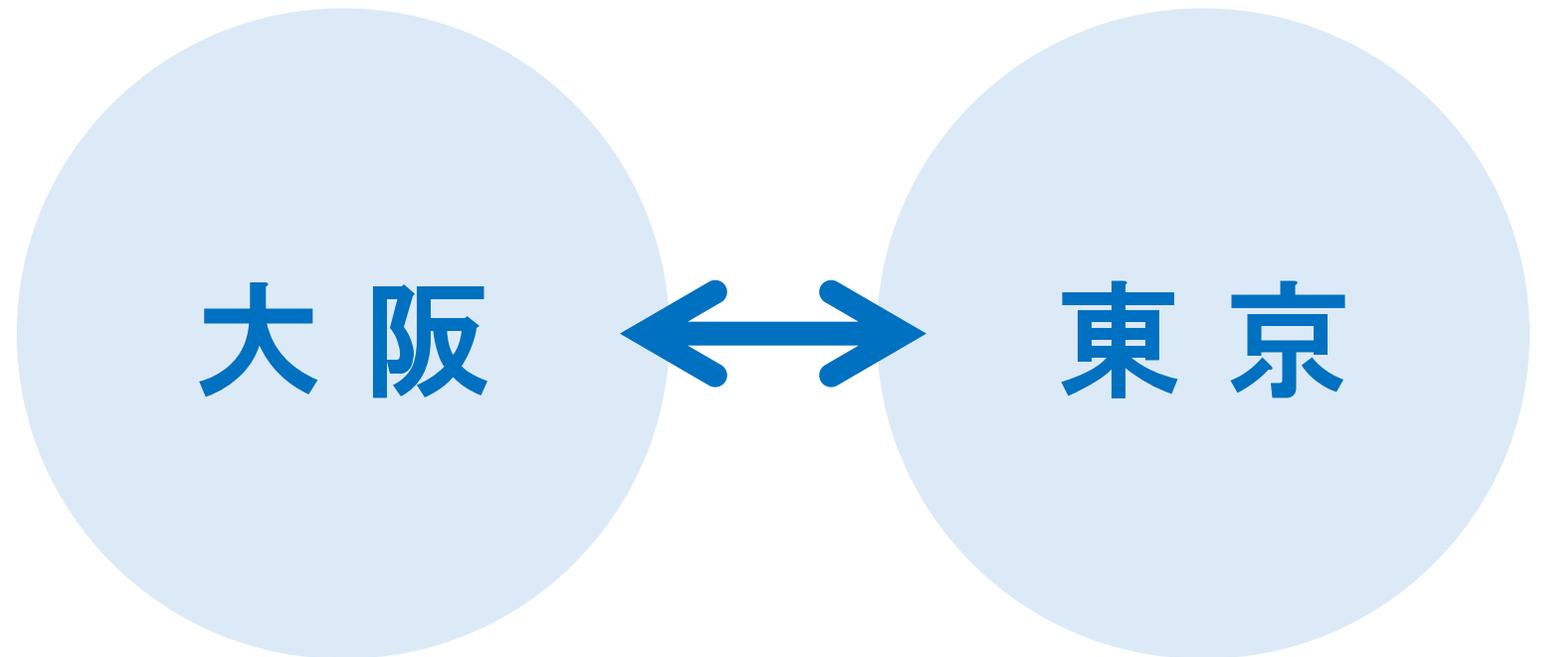
①歴史

②組織

③業務内容

④主要取引先

## 大阪と東京の2拠点体制



## ①歴史

## ②組織

## ③業務内容

## ④主要取引先

- コミュニケーションプランニング事業
- 製版・印刷事業
- 情報システム事業
- 物流管理・オペレーション事業
- WEB事業

①歴史

②組織

③業務内容

④主要取引先

▪ 大手流通グループ

▪ メーカー

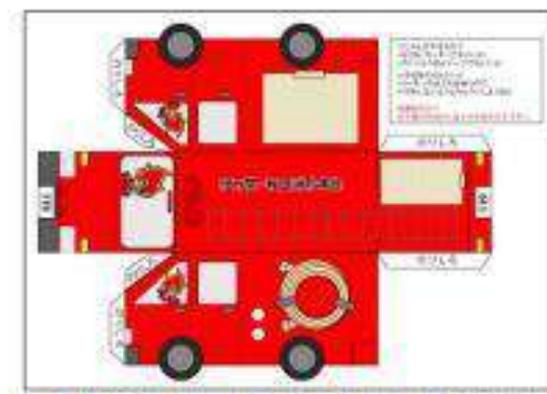
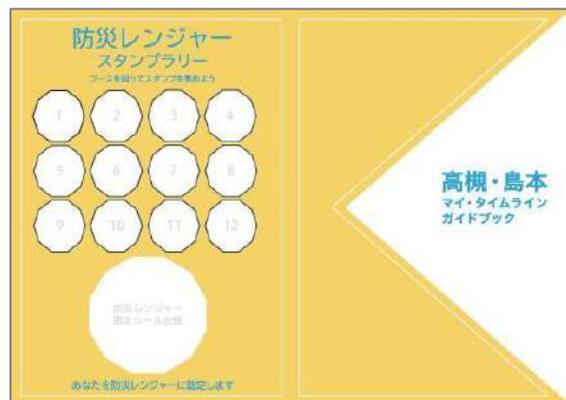
▪ 大手広告代理店

▪ 中央省庁・自治体

## 防災イベントの企画・運営を軸に 多くの方々に防災・減災を周知



## 防災イベントの企画・運営を軸に 多くの方々に防災・減災を周知



**なぜ  
広告代理店である  
ブンカが積極的に  
防災のことを  
考えているのか。**

## きっかけ ①

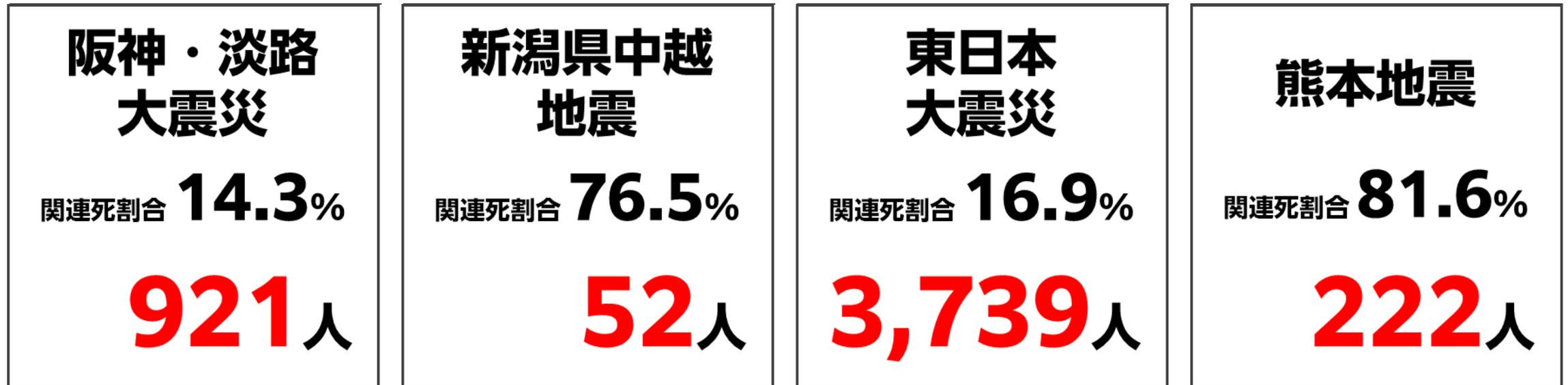
東日本大震災時に  
クライアントの店舗復興に同行  
することで被災地の実情を知る

## きっかけ ②

防災セミナー等に関わる中で  
防災先進国イタリアの取り組み  
を知る

**「災害関連死 0 名」**の実現に向けて何が出来るか

# 被災者の中には助けられる命があったはず



被災後に亡くなった方 **4,934人**  
(被災者の2割弱相当)

## イタリア

- 政府が州の市民保護局に  
72時間以内の避難所設置を指令
- 避難所には、テント、ベッド、トイレ、  
シャワー、キッチンカー、食堂を用意
- 停電や断水に備え、発電機や給水車  
も確保
- ボランティアは、国や州に登録された  
災害NPOに登録され、非常時に動員

## 日本

- 災害救助法の一般基準では  
避難所は原則7日以内に設置
- 避難所には、簡易ベッド、仮設トイレ、  
マンホールトイレ、炊き出しを実施
- 非常用電源、衛星携帯電話等の  
通信機器を確保
- 個人登録をして、平時から訓練や  
研修に参加

# イタリアと日本の災害支援の現状



画像引用:NHK



画像引用:東京新聞WEB

Toilet 清潔なトイレ

Kitchen 温かい食事

Bed 良い就寝環境

## Toilet 清潔なトイレ

例えば、断水で水がなくなると水洗トイレが使えなくなり、劣悪なトイレ環境に陥ります。

すると、トイレに行きたくないと排泄回数を減らすため、水分摂取を控える人が出始めて脱水症状を起こします。その結果、口腔内の細菌が増え、それが原因で誤えん性肺炎を引き起こし亡くなる人が出てくるのです。

## Kitchin 温かい食事

栄養が偏って、高血圧が進行する人が増え、循環器系疾患につながりやすくなります。

## Bed 良い就寝環境

床で寝ることによって大きなストレスを受け、睡眠不足に陥ります。その結果、体力や免疫力が低下して、呼吸器系疾患を引き起こす人が出てくるのです。

# Toilet 快適に使用できる清潔なトイレ

【参考例】



イタリアでの快適なトイレは  
コンテナ式で中にシャワールームや  
パウダールームを完備



福岡県うきは市の防災道の駅「うきは」  
コンテナトイレは平常時利用も可能

# Kitchen 温かい食事が提供できるキッチン

【参考例】



イタリアでは温かい食事を提供。  
炊き出しではなくシェフによる調理、寝食が別になるように食堂テントを設置し、  
被災者同士のコミュニケーションを図る

## Bed 良い就寝につながる身体を休めるベッド

【参考例】



イタリアでは就寝スペースと食事スペースを分けて設置。  
十分な睡眠が取れるような休息テントを設置して  
ベッドの上で眠れるような対策を行っている。

日本でも簡単に設置ができる  
段ボールベッドを活用。  
パーティションを使って  
快適な睡眠とプライバシーを  
守る取り組みを行っている。

## TKB以外にも子どものメンタルをケアする取り組みも必要

【参考例】

### 子どもの遊び場トレーラー



子どもが遊べる遊具や絵本などを常備しているトレーラーで子どものストレスを発散。同時に安全な母子スペースとして活用される。

### アニメトーレ



社会・教育・スポーツ・文化の活性化にあたる専門職で被災地へ駆けつけ子どもたちや被災者の方を元気づける

**新しい地方経済・生活環境創生交付金  
（地域防災緊急整備型）**

**制度概要について**

# 地域防災緊急整備型予算のポイント



	申請要件	確認方法
①	申請団体の地域課題を踏まえ、従来の防災・減災の取組の改善に取り組む事業であること	<p>交付対象事業の実施により、目指す地域防災力向上の内容が記載されているか。</p> <p>成果を複数年度にわたって計測するためのKPIが設定されているか</p>
②	避難所の生活環境改善をはじめとした、地域住民の安全・安心の向上に裨益する事業であること	<p>① 交付対象事業が地域住民に直接裨益するものであるか。 ※行政運営に資するものに留まる事業は対象外</p> <p>② 交付対象事業費に対する地域防災力向上に向けた資機材購入に係る割合が50%を超えていること。</p>
③	事業を実効的・継続的に推進するための体制が確立されているものであること	<p>申請団体において防災部局と地方創生担当部局等の間や、地域関係者との連携体制が構築されていること。 ※民間事業者等への間接補助の場合は、発災時の災害対応への協力を担保するための取組が示されていること。</p>
④	本事業で行う防災力向上の取組について、地域住民へ周知広報を図ること	<p>③ 購入する資機材について平時より地域イベントで活用するなど、地域住民が災害に備える意識を醸成する取組を予定していること。</p>

## ① 地域住民のためのものであること

交付対象事業が地域住民に直接裨益するものであるか。

## ② 部局や地域との連携体制の構築

防災部局と地方創生担当部局等の間や地域関係者との連携体制が構築されていること。

## ③ 地域住民が平時より活用できるものであること

平時より地域イベントで活用するなど、地域住民が災害に備える意識を醸成する取組を予定していること。

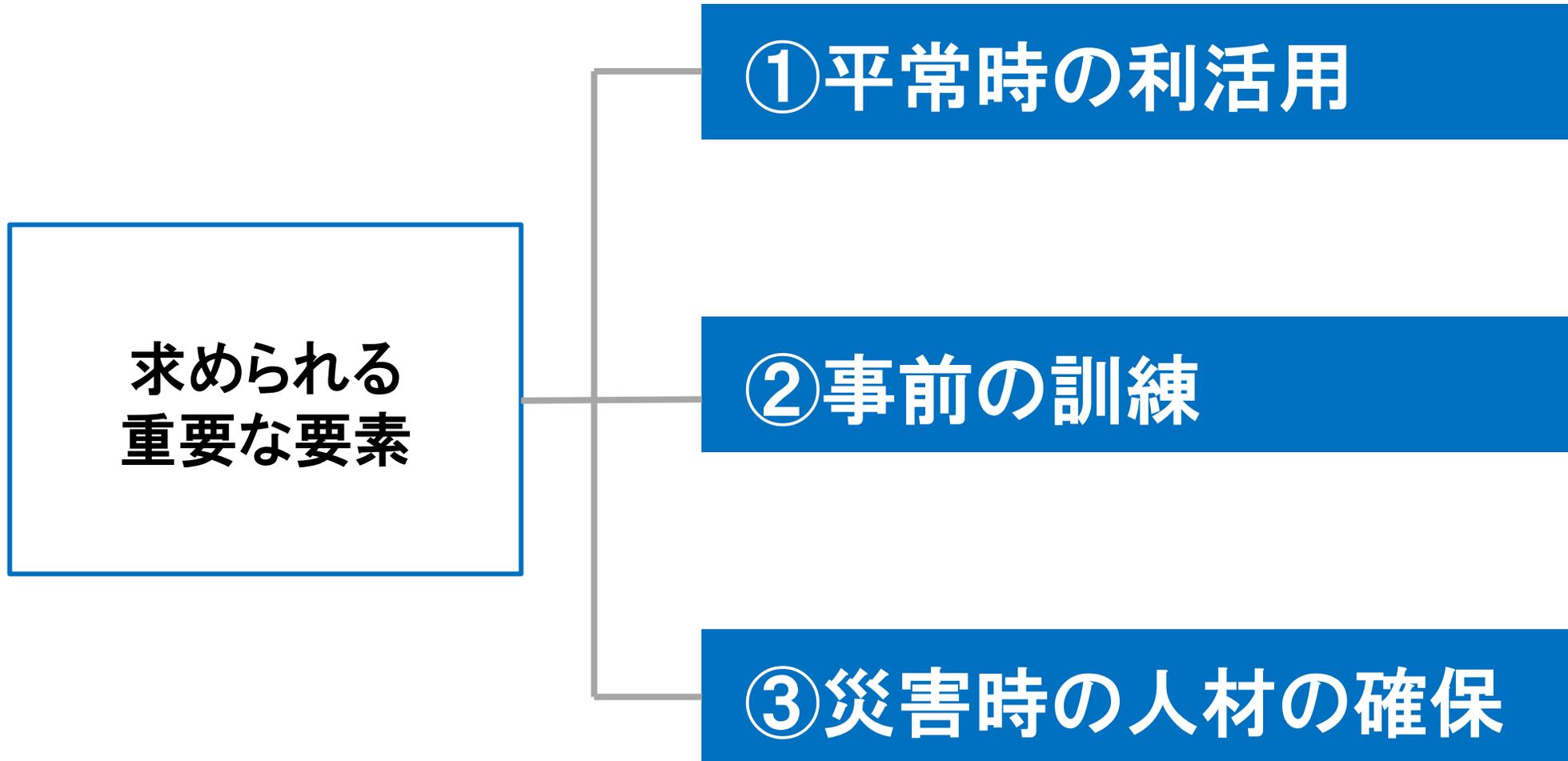
# 評価項目・評価基準の当該項目

	評価項目	評価基準	評価
1①	地域防災における課題と目指す地域防災力向上のあり方	○申請団体における地域防災の現状に対する認識が明確かつ具体的に示されているか。 ○交付対象事業の実施により、目指す地域防災力向上の在り方が明確かつ具体的に示されているか。	S・A・B・C・D
1②		○購入する資機材の平時の利活用が具体的に示されているか。	
2	事業のKPIの適切性	○アウトプット、アウトカム指標が ①「客観的な成果」を表す指標である ②事業との「直接性」のある効果を示す ③「妥当な水準」の目標が定められている ④タイムリーに集計・評価可能な指標である	
3	推進体制	○庁内における推進体制が確立しているか。 ○民間事業者や地域の関係者との連携・協働体制が構築できているか。	
4①	事業計画	○予算の計上、交付決定から資機材の仕様検討、入札、資機材の配備、初年度におけるイベントや訓練等の平時の活用まで、スケジュールが具体的かつ現実的であるか。	S・A・B・C・D
4②		○交付対象事業費について、適切な経費項目に分類したうえで、具体的に記載されているか。	

**○予算の計上、交付決定から資機材の仕様検討、入札、資機材の配備、初年度におけるイベントや訓練等の平時の活用まで、スケジュールが具体的かつ現実的であるか**

# 評価項目・評価基準の当該項目

	評価項目	評価基準	評価
5	その他の政策的優遇措置		
①	避難所におけるトイレ、キッチン、ベッド、風呂の環境改善に向けた取組	○避難所における発災後迅速なトイレ、キッチン、ベッド、風呂の提供の改善に取り組むものであるか ※避難所におけるTKBの確保時間について、アウトカム指標にも掲げ、その達成に向けた取組に具体性があるものは特に高評価とする。	S・A・B・C・D
②	広域連携事業	○「連携中枢都市圏構想」又は「 <b>○避難所における発災後迅速なトイレ、キッチン、ベッド、風呂の提供の改善に取り組むものであるか。</b>	
③	備蓄状況の公表	○非常用物資の備蓄状況についてホームページ等で公表していること。	
④	防災に関する訓練	○過去3か年において、毎年地域住民と連携（都道府県は市区町村と連携）した防災訓練を行っていること ※避難所運営訓練、要配慮者や要支援者などの避難所体験など、避難所の生活環境改善に向けての訓練を行っている場合は高評価とする。	A・B・C
⑤	防災に関する研修	○過去3か年において「防災スペシャリスト養成」有明の丘研修（内閣府（防災）において主催するもの）の受講実績があること	該当する場合に 加点
⑥	他地域への応援の意思	○交付金事業で購入した資機材に関して、他地域での大規模災害発生時に応援に取り組む意思が示されている場合（申請書のチェック欄で確認）	該当する場合に 加点



# ① 平常時の利活用の紹介

平常時の設置個所候補は目的により下記に分類されると考えます。

## 資機材の存在を周知する

- 道の駅
- 公共施設
- イベント

## トイレの不足を補う

- イベント
- 観光地
- シーズン的に人が集まる場所
- 工事現場

## 普段からの利用に慣れる

- 老人ホーム
- 特別養護学校
- 幼稚園、小学校など

どこか1カ所に常設するのではなく、複数個所を循環し移動・設置の訓練も兼ねて運用する。

# ① 平常時の利活用の紹介

## ● 道の駅や公共施設への設置



## ● 観光地への設置



## ● イベントでの利活用



## ● 高齢者施設・特別支援施設



移動・移設をすることを前提にした運用・資機材の調達が重要

## ②事前訓練の実施

### ● 避難所の開設訓練

TKBを意識した避難所の開口訓練

(自治体目線)



導入した資機材の使用方法の確認

### ● 避難生活の体験

(個人目線)



真夏や真冬などの避難所  
宿泊体験



車いすや支援が必要な方への  
避難時の対応学習



こどもまんなかカーを実体験・子供向けの救命講習など

資機材の設置・開設訓練と生活者が避難生活を平常時に体験できるようなイベント

### ● 宿泊体験型防災ツアーリズム

既に様々な自治体・団体が主催している避難所宿泊体験を  
観光地で実施することで設置訓練・避難所体験・観光促進を兼ねる

防災

+

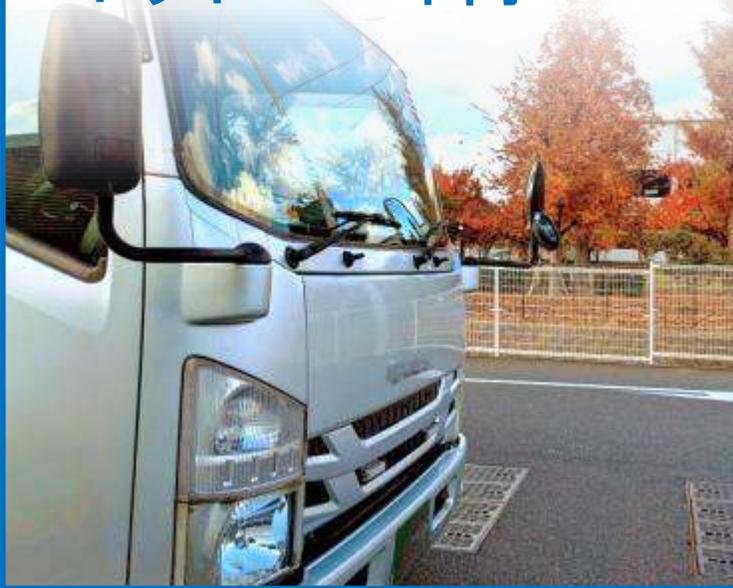
観光  
レジャー

行ってみたいと思わせる場所での体験により参加者の増加を図る

### ③災害時の人材の確保

## 資機材を有効な活用に必要なスタッフを 手配するための運用システムの構築

①各種資機材を搬入する  
ドライバー・車両



②温かい食事をつくるシェフ



③こどものケアのための  
アニメーター



## 応募フォームの開設

ドライバーとして  
登録

シェフとして  
登録

アニメーターとして  
登録

必要な人材ごとに登録してもらい平常時の活用から協力してもらう事で非常時の訓練も兼ねランニングコストも削減する。

分類ごとにメールアドレスを登録してもらう事で迅速に連絡することが可能。

周辺都市からの応募も可能とすることで被災地になった際に被災者がボランティアとして活動しなくてならない状況を回避する。

災害が起きてからのボランティア登録ではなく平常時からスキルに応じた登録を促進

ご清聴ありがとうございました。

**BUNKA**

株式会社ブンカ